

## § 2 第3・4文型

### CHECK

ここでは第3文型と第4文型をセットにして考える。

「AにBを～する」という日本語は、ついSVOOにあてはめたくなるが、第4文型をとらずに第3文型をとるものがある。逆に、第3文型でいいと思っていると第4文型をとるものがある。第4文型 第3文型の書き換えの問題もある。toをとるか forをとるかも大事だが、すべての第4文型が第3文型に書き換えられるわけではない。SVOのOに節や句をとることができるかという問題もある。

これらの点を ,explain, cost, tell, ask, want といった基本的な動詞で確認しておこう。explain, cost, tell, ask, want の使用上の注意がすぐ言えれば問題はないのだが…。

### EXERCISES

1 Could you ? (センター試験)

explain me it      explain it me      explain to me it      explain it to me

第4文型の He gave me the book. の the book を it に変えると,\*He gave me it.となるが、直接目的語の位置に it, them を置くことはできない。このようなときは、第3文型を用いて He gave it to me.という。しがって、どのような動詞の時でも の形はあり得ない。次に、直接目的語+間接目的語の語順はないので は誤り。 は同情の余地のない誤り。消去法で行くと が正解になるが、explain は第4文型では使えない動詞である。第3文型を用いて explain B to A とする。

答 Could you  ?

訳 私にそれを説明していただけますか。

2 The mechanics said that it would cost  700 dollars to fix my car.  
(センター試験)

on me      me      to me      for me

cost は第4文型を取るが、直・目と間・目の語順を入れ換えることのできない動詞である。したがって、cost me 700 dollars となり、cost 700 dollars to me や cost 700 dollars for me のような語順をとることはない。

答 The mechanics said that it would cost  700 dollars to fix my car.

訳 その修理工は私の車を修理するのに700ドルかかるだろうと言った。

3 “Do you know that Jean has got a new job?”  
“No, she  us nothing about it.” (センター試験)

said      spoke      talked      told

SVOC の文型をとれるのは ~ のなかでは の told だけである。

**答** “Do you know that Jean has got a new job?”

“No, she **told** us nothing about it.”

**訳** 「ジーンが新しい仕事について知っているかい。」「いや、彼女はそのことはわれわれに何も話さなかった。」

**4** At the end of the party, Peter **4** goodbye to me and left. I hope he got home all right. (慶大・看護医療)

said

told

was saying to me

was telling

「～によろしく言う」は say hello to ~だから say good-bye to ~は「～にさよならを言う」となる。

**答** At the end of the party, Peter **said** good-bye to me and left. I hope he got home all right.

**訳** パーティーが終わるときに、ピーターは私にさよならと言ってその場を離れた。無事に家に着いたかしら。

**5** We (a) want we will (b) soon be able to return (c) to our peacetime (d) activities.

【間違っているものを選ぶ】

(上智・経済)

soon の場所に問題はないし、return は自動詞なので to が必要だし、activity の複数形も正しい。一見よさそうだが、want は、I want to ~とは言えても、I want that + S + V という形はない。I think that や I hope that なら OK。ここは、内容から hope に変えればいだろう。

**答** (a) We hope we will soon be able to return to our peacetime activities.

**訳** 私たちはすぐに平時の活動に戻れることを望んでいる。

**6** He came back from (A) a day's work (B) all wet and (C) told that it (D) was raining outside. (E) NO ERROR 【間違っているものを選ぶ】 (早大・人間科学)

(A)a day's work は today's newspaper(今日の新聞)と同じ考えで所有格の使い方は正しい。(B)He came back all wet. の came back を was に置き換えて He was all wet. としても文が成立するので all wet は第2文型の C になっている。正しい使い方である。

(D)was raining は時制の一致で過去形になっているので問題ない。問題なのは(C) **told** である。to tell the truth や There is no telling のときの tell は第3文型の用法であるが、that 節を伴う場合、伝える相手を言う必要があるが、say のときは不要。

**答** (C) He came back from a day's work all wet and said that it was raining outside.

**訳** 彼はずぶ濡れになって一日の仕事から戻ってきて、「外は雨だよ」と言った。

**7** The young child [its, question, mother, of, a] 【一語補充】

述語動詞がないのでまずそれを補う。**question** と結びついて「質問をする」となるのは **ask**。The young child asked its mother a question. とできるが、**of** があるので目的語の順を入れ替える。**ask** は第4文型から第3文型への変換の際、**of** を必要とする動詞である。

**答** The young child asked a question of its mother.

**訳** その幼い子供は母親に質問をしました。

### § 3 第5文型

#### CHECK

この文型で特に問題になるのは、補語のところに原形不定詞、to 不定詞、現在分詞・過去分詞が来る場合だろう。使役動詞・感覚動詞が大活躍するところだ。「太郎に車を洗ってもらう」を have を用いて2通り (①, ②) に、また、③「華子がピアノを弾くのを見た」、④「華子がピアノを弾いているのを見た」、⑤「華子はピアノを弾くのを見られた」、⑥「華子はピアノを弾いているのを見られた」が直ぐに言えますか。help は原形と to 不定詞の両方がくるので注意。

#### ANSWERS

車 編... have Taro wash my car    have my car washed by Taro  
 ピアノ編... ...saw Hanako play the piano    ...saw Hanako playing the piano  
 Hanako was seen to play the piano ...  
 Hanako was seen playing the piano ...

#### EXERCISES

1 She was seen  into the theater with her boyfriend. (センター試験)

- ① go      ② going      ③ gone      ④ went

感覚動詞の受身になっているとき、**seen** の後には (原形ではなく) **to** 不定詞または現在分詞がくる。「~するのを見られる」「~しているのを見られる」の意味になる。**to** 不定詞がないので②の現在分詞を選ぶことになる。

**答** She was seen  into the theater with her boyfriend.

**訳** 彼女はボーイフレンドと一緒に劇場に入っていくのを見られた。

2 The boy screamed for help but couldn't . (センター試験)

- ① hear him                      ② make him heard  
 ③ make himself hear          ④ make himself heard

《make oneself understood》の表現を思い出そう。再帰代名詞+過去分詞になることに注意。

**答** The boy screamed for help but couldn't .

**訳** その少年は助けを求めて叫んだが、その声は届かなかった。

3 My parents never allowed me  alone in the sea. (センター試験)

- ① swim      ② swimming      ③ to swim      ④ to swimming

「人が～するのを許す」ときに、ひとつは、《allow+目的語+to 不定詞》を用いる。allowは補語の位置に①の原形も②の現在分詞も、ましてや④のto+動名詞もとらない。ただ、to 不定詞だけを従える。

**答** My parents never allowed me  alone in the sea.

**訳** 私の両親は私が一人で海に泳ぎに行くことを決して許してくれなかった。

4 Although her parents had said “no” for a long time, they finally  her go to Europe alone. (センター試験)

- ① allowed      ② got      ③ let      ④ made

使役動詞 let を用いた場合は、《let+目的語+原形》である。

**答** Although her parents had said “no” for a long time, they finally let her go to Europe alone.

**訳** 彼女の両親は長い間ダメだと言っていたけれど、ついに彼女がヨーロッパに一人で行くことを許した。

5 “Have you sent the manager’s letter?”  
“No, not yet. I must have it  first. (センター試験)

- ① be signed      ② his signature  
③ sign      ④ signed

使役動詞の have は《have+目的語+原形》《have+目的語+過去分詞》の形をとる。いずれにせよ、「目的語+原形」と「目的語+過去分詞」の間に主語と述語の関係が存在しなければならないから、have の後には him+sign (→he signs) または it+signed (→it is signed) の形がくる。④がその条件を満たしている。①には過去分詞が含まれているが、補語の位置に受身がくることはできない。

**答** “Have you sent the manager’s letter?”  
“No, not yet. I must have it  first.

**訳** 「部長の手紙出しましたか。」「いや、まだです。まずそれにサインをしていただかなければなりません。」